

インターネットサイトを用いた効果的な HIV 検査相談施設の

情報提供と利用向上に関する研究

研究分担者	佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者	近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)
	須藤 弘二 (慶應義塾大学医学部)
	星野 慎二 (特定非営利活動団体 SHIP)
	井戸田一朗 (しらかば診療所)
	土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)
	清水 茂徳 (東日本国際大学)
	生島 嗣 (特定非営利活動法人 ふれいす東京)
	岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)
	杉浦 太一 (株式会社 CINRA)
	今井 光信 (田園調布学園大学)
	加藤 真吾 (慶應義塾大学医学部)
	市川 誠一 (人間環境大学)
	白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
	今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

インターネットサイトを用いて保健所等 HIV 検査相談施設の検査情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを推進することを目的として、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(www.hivkensa.com) の管理運営を行った。本サイトの情報提供の効果を調査するため、アクセスアナライザーによる利用状況の解析および保健所等 HIV 検査担当者へのアンケート調査を行った。本年度の新規事項としては、近年の梅毒感染者急増への対応として、梅毒検査実施施設の検索方法の簡易化およびサイト情報の信頼性確保と安全性向上を目的としたサイト全体の SSL (Secure Sockets Layer) 化 (2018 年 3 月) を行った。

年間のサイトアクセス数は、2017 年は 158 万件であり、2016 年の 151 万件と比べて約 7 万件の増加となった。情報端末別では、スマートフォンからの訪問数が 133 万件となり、総アクセス数の 84% を占めた。検索エンジンにおいて当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「エイズ」であり、以下、「HIV」、「HIV 検査」、「エイズ感染率」、「エイズ検査」、と続き、検索結果の平均掲載順位は 1.0~1.5 位と上位に表示されていた。チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが 80%、直接アクセスが 11%、他サイトからが 8%、SNS からが 0.4%であった。当サイトへのアクセスはスマートフォンが多いことから、今後、SNS を活用したアクセス数向上を検討したい。

HIV 検査相談に関するアンケート調査において、本サイトの利用状況等を保健所等 HIV 検査担当者に聞いたところ、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所 92%、特設検査機関 95%、当サイトは HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所 84%、特設検査機関 95%であった。このことから、当サイトは保健所等の HIV 検査担当者の多くの方に認識していただいております、HIV 検査

相談事業に寄与していることが示唆された。

当サイトは2001年の開設から2017年末で約1,860万件のアクセスがあり、現在も多くの方に利用していただいている。当サイトアドレスは自治体のHIV/エイズ情報ページ、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介されており、行政的にも有効活用されている。検索エンジンではHIV/エイズ関連用語検索で常に上位に表示されており、厚生労働省の研究班が提供している信頼性の高いサイトとして多くの方に利用されている。今後も正確で最新のHIV検査情報を提供していくとともに、更なるHIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与したいと考える。

A.研究目的

保健所等のHIV検査相談施設の情報やHIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、検査希望者への情報提供、受検サポートおよびHIV/エイズの理解促進を目的としたウェブサイト「HIV検査・相談マップ」(www.hivkensa.com)の管理運営を行った。また、アクセス解析やアンケート調査を行い、当サイトが有効利用されているかを調査した。

B.研究方法

1. 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等HIV検査相談施設で実施されている常設検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知識等について、ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」(PCサイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイト)に掲載し、情報提供を行った。PCサイトは2001年9月、携帯電話サイトは2003年4月に開設し、2009年10月にPCサイトおよび携帯電話サイトのリニューアルを行った。2013年にはスマートフォンサイトを開設した。

定期更新作業としては、2月に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体144箇所および医療機関37箇所に情報確認依頼文書を送付し、3月下旬から4月下旬にかけて修正作業を行った。また通年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

本年度の新規事項としては、近年の梅毒感染者急増への対応として、梅毒検査実施施設の検索方

法を簡易化した。また、サイト情報の信頼性確保と暗号化通信による安全性向上を目的として、サイト全体のSSL(Secure Sockets Layer)化を行った(2018年3月)。

2. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

本サイトのアクセス解析には「Google Analytics」および「検索順位ツールGRC」を用いて、①サイトアクセス数(年別、月別、日別)、②情報端末別訪問数、③新規・リピーター割合、④検索エンジン(Google)の検索クエリ別順位、⑤参照元からのアクセス数、⑥サイトコンテンツのページビュー数、⑦サイト訪問から離脱までの行動フロー、を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ報道によるアクセス数の影響等を調査した。また、2017年3月に外国語ページを新規作成したことから、その利用状況を把握するために、⑧外国語ページのページビュー数、⑨アクセス地域およびアクセス言語、についての解析を行った。

3. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -

HIV検査・相談体制に関する調査(研究分担者土屋菜歩先生)において、保健所および特設検査施設のHIV検査担当者に対し、当サイトの利用状況やHIV検査相談事業への貢献度に関するアンケート調査を実施した。

(倫理面への配慮)

本研究は個人情報扱っておらず、倫理面の配慮を必要としなかった。

C.研究結果

1. 新規情報掲載、情報修正作業の状況

2017年は保健所等HIV検査相談施設657箇所の

掲載を行った（図1）。検査イベント情報の掲載依頼は168件、情報修正依頼は363件であった。

本年度は、梅毒検査実施施設の検索方法の簡易化とサイト全体のSSL化を2018年3月に行った。

2. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

PCサイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイトでの2001年からの合計アクセス数は約1,860万件となった（図2）。2017年の年間サイトアクセス数は158万件であり、2016年の151万件から7万件増加した。情報端末別でみると、スマートフォンからのアクセス数が133万件となり、総アクセス数の84%を占めた（図3）。訪問者別割合は、新規訪問者が69%、リピーターが31%であり、約3割は複数回利用であった（図4）。月別アクセス数は、2017年は毎月11~15万件で推移しており、9月と12月のアクセス数は15万件を超えた（図5）。日別アクセス数は2017年9月19日に新聞記事（九州でエイズ患者・HIV感染者が急増）の報道により1日で23,122件となった（図6）。年間を通して5,000件を超えた日は56日あり、うち12月が16日を占めた。2016年の5,000件を超えた日は26日であり、2017年は倍増していた。

検索エンジン（Google）での検索クエリ別の順位を50位まで調査したところ、当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索クエリは「エイズ」であり、以下、「HIV」、「HIV 検査」、「エイズ感染率」、「エイズ 検査」、と続いた（図7）。これらの平均掲載順位は1.0~1.5位であった。「HIV性病検査」のクエリでは平均掲載順位が19位、「HIV 症状」や「HIV 潜伏期間」では3.7~8.7位と表示順位が低くなっていた。検索クエリ別の月別順位をみると、「HIV」、「エイズ」では1位となった月が多かったが、「AIDS」は8月までは10~48位と低迷していた（図8）。しかし9月以降は、2017年3月に外国語ページを作成した効果から10位までに表示されるようになり、2018年1月には3位にまで上昇した。

チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジン

からのアクセスが80%、直接アクセスが11%、他サイトからのアクセスが8%、SNSからのアクセスが0.4%であった（図9）。

参照元からの訪問数を見たところ、Google検索からが最も多く約92万件、Yahoo! JAPAN検索からが約38万件、直接アクセスが約17万件であった（図10）。参照サイトからの訪問数をみると、東京都が一番多く、上位10位中ゲイ・バイセクシャル向けサイトが4サイトあった（図11）。

サイトコンテンツのページビュー数を見ると、スマートフォンサイトの「HIV・エイズって何？」ページが約49万ページビューと一番多く、上位10位中、スマートフォンサイトのページが8ページを占めた（図12）。

サイト訪問から離脱までの行動フローを調べたところ、閲覧開始ページではセッション数157万件的のうち126万件（80%）が離脱していた（図13）。次のページでは、セッション数32万件的のうち、確実に施設検索ページにアクセスしたのは15万件であり、14万件が離脱していた。その次のページ以降で施設検索ページにアクセスしたのは約9万件であり、全体としては約24万件、閲覧者の15%が施設検索ページにアクセスしていたことが分かった。

2017年3月に外国語ページ（英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語およびやさしい日本語）を新規作成した（図14、図15）。Googleで「HIV testing」と検索すると、新規作成した外国語ページのトップページが1位、英語ページが2位に表示されるようになった（図16）。外国語ページの利用状況を把握するために、2017年3~12月の外国語ページのページビュー数、アクセス地域およびアクセス言語のユーザー数について解析を行った。外国語ページのページビュー数は、やさしい日本語が3,966件と最も多く、続いて英語ページが2,928件であった（図17）。アクセス地域は日本からが106.4万人と最も多く、続いて米国5,849人、タイ国3,385人、中国1,520人と続いた（図18）。アク

セス言語をみると、日本語が105.6万人、英語（米国）24,424人、中国語3,261人であった。

3. サイト活用状況の解析 — アンケート調査 —

全国保健所および特設検査施設に対して実施したHIV検査相談に関するアンケート調査において、当サイトの利用状況やHIV検査相談事業への貢献度に関する質問をHIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所92%、特設検査施設95%であり（図19）、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」の回答は保健所84%、特設検査施設95%であった（図20）。

D. 考察

本年度は、近年の梅毒感染者急増への対応として、梅毒検査実施施設の検索方法の簡易化、また、サイト情報の信頼性確保と暗号化通信による安全性向上を目的としたサイト全体のSSL化を2018年3月に行った。今後、不具合等がみられない稼働状況について注視したい。

2017年のサイトアクセス数は158万件であり、2016年の151万件と比較して7万件の増加となった。月別アクセス数では9月と12月が15万件と他の月に比べて多かった。日別アクセス数を見ると、9月19日に新聞記事（九州でエイズ患者・HIV感染者が急増）の報道により1日で23,122件となったが、他の日は、突出してアクセス数が高い日は見られなかった。年間を通して、5,000件を超えた日は56日で、うち12月が16日を占めたことから、12月は世界エイズデー等の報道により、アクセス数が増加したことが考えられた。また、2016年の26日と比べて倍増しており、アクセス数の改善が見られた。

検索エンジン（Google）での検索クエリ別の順位を50位まで調査したところ、当サイトを閲覧した際に一番多く使用された検索クエリは「エイズ」であり、以下、「HIV」、「HIV検査」、「エイズ感染率」、「エイズ検査」、の順であった。これら

の平均掲載順位は1.0～1.5位であった。しかし、「HIV性病検査」では19位、「HIV症状」や「HIV潜伏期間」では3.7～8.7位と順位が下がる傾向があることから、これらの情報について充実させていく必要があると思われた。

チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが80%、直接アクセスが11%、他サイトからのアクセスが8%、SNSからのアクセスが0.4%であり、SNSからの訪問数が少ないことが分かった。しかし、当サイトへのアクセスはスマートフォンからが84%と最も多いことから、SNSの活用は有効と思われる。今後、サイトデザインに画像を多用する等、SNSで発信しやすいサイト構成に改修する必要があると思われた。

参照サイトからの訪問数を見たところ、ゲイ・バイセクシャル向けサイトが上位10位中4サイトあり、2012年度に作成したMSM向けバナーを設置していただいているサイトからのアクセスもあることから、ゲイ・バイセクシャルの利用率が高いサイトにバナーを設置してもらうことで、感染リスクの高い層へのアプローチが可能になると考えた。

サイト訪問から離脱までの行動フローを見たところ、閲覧開始ページにおいてセッション数157万件のうち126万件（80%）が離脱しており、施設検索ページまで行ったのは約24万件（閲覧者の15%）であった。閲覧数が多いページ内容の充実とそのページから施設検索に誘導する仕組み作りが必要と思われた。

2017年3月に作成した外国語ページにより、Googleで「AIDS」と検索すると2017年8月までは表示順位が10～48位と低迷していたが、9月以降は10位までに入るようになり、2018年1月には3位まで上昇した。また、「HIV testing」での検索では、新規作成した外国語ページのトップページが1位、英語ページが2位に表示されるようになり、ページが活用されていると思われた。アクセス地域は米国からが5,849人、中国からが1,520人であったが、アクセス言語をみると、英語（米国）

24,424人、中国語3,261人、であり、在日外国人
が当サイトを利用していることが示唆された。今
後、東京オリンピック・パラリンピックを控え、
在日外国人や外国人旅行客が急増し、外国人の検
査希望者の増加も予測されることから、さらに外
国語の情報提供体制について内容の充実を図り、
バリアフリーなサイト構築を目指したい。

全国保健所および特設検査施設に対して実施
したHIV検査相談に関するアンケート調査におい
て、本サイトの利用状況等に関する質問をHIV/エ
イズ対策担当者に質問したところ、「当サイトを
閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「あ
る」との回答は保健所92%、特設検査施設95%、「当
サイトが事業に役立っていると思うか」の設問で
は、「思う」が保健所84%、特設検査施設95%であ
り、当サイトは自治体HIV/エイズ担当者に認知さ
れており、HIV検査相談事業に寄与していること
が示唆された。

2001年の開設から2017年末で1,860万件のア
クセスがあり、現在も多くの方に当サイトを利用
していただいている。当サイトアドレスは自治体
のHIV/エイズ情報ページ、日本赤十字社の献血者
への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で
紹介されており、行政的にも有効活用していただ
いている。検索エンジンではHIV/エイズ関連用語
検索で常に上位に表示されており、厚生労働省の
研究班が提供している信頼性の高いサイトとし
て多くの方に利用されている。今後も正確で最新
のHIV検査情報を提供していくとともに、更なる
HIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に
寄与したいと考えている。

E. 結論

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」
(www.hivkensa.com)を運営し、保健所等HIV検
査相談施設の最新情報やHIV検査に関する基礎知
識等の情報を継続的に提供した。また、アクセス
解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査
した。

本年度は近年の梅毒感染者急増への対応とし
て、梅毒検査実施施設の検索方法を簡易化した。
また、サイト情報の信頼性確保と暗号化通信によ
る安全性向上を目的として、サイト全体のSSL化
を行った。

本年度のサイト訪問数は約158万件と前年より
7万件の増加となり、アクセス数の改善が見られ
た。アンケート調査結果からは保健所担当者が当
サイトを活用していることが分かり、当サイトの
保健所HIV検査相談事業への寄与が示唆された。
本サイトアドレスは日本赤十字社での献血者へ
の配布文書や自治体サイト、啓発用パンフレット
等にも多方面で紹介されており、行政的にも有効
利用されている。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 佐野貴子、嘉手苺将、渡邊寿美、近藤真規子、
黒木俊郎、田坂雅子、高橋智恵子、中村廣志、
鮫島まりな、山下 舞、田中 聡 國司洋佑
太田光泰、石田倫也、白井宏幸. ヒトパレコウ
ウイルス3型による小学生および成人の筋痛症事
例—神奈川県. 病原微生物検出状況、38 :
127-128、2017
- 2) 佐野貴子、嘉手苺将、渡邊寿美、近藤真規子、
黒木俊郎、田坂雅子、寺西大、中村廣志：手足
口病およびヘルパンギーナ患者の発生動向と
エンテロウイルス検出状況—神奈川県. 病原微
生物検出状況、38 : 193-195、2017

2. 学会発表

- 1) K Sudo, T Sano, M Kondo, T Kawahata, H
Fujiwara, N Hasegawa, S Kato. COMPARATIVE
EVALUATION OF THE BIO-RAD GEENIUS (TM)
HIV-1/2 CONFIRMATORY ASSAY AND THE NEW LAV
BLOT 1 AND 2 IN THE JAPANESE POPULATION. 28th

Regional Congress of the ISBT.
2017/11/25-28, Guangzhou, People's
Republic of China.

- 2) 佐野貴子、星野慎二、井戸田一朗、加藤真吾、市川誠一、今井光信. 全国保健所における梅毒検査の実施状況調査. 第76回日本公衆衛生学会総会、2017年10月31日-11月2日、鹿児島.
- 3) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、川畑拓也、小島洋子、森治代、井戸田一朗、岩室紳也、立川夏夫、藤原宏、長谷川直樹、加藤真吾. 新規HIV抗体確認検査試薬である Geenius HIV Confirmatory Assay の検討. 第31回日本エイズ学会学術集会・総会、2017年11月24-26日、東京.
- 4) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、加藤真吾、市川誠一、今井光信. 保健所等公的検査機関を対象とした HIV 検査相談体制に関するアンケート調査. 第31回日本エイズ学会学術集会・総会、2017年11月24-26日、東京.
- 5) 近藤真規子、佐野貴子、長島真美、貞升健志、蜂谷敦子、横幕能行、林田庸総、瀧永博之、渡邊大、吉村幸浩、立川夏夫、岩室伸也、井戸田一朗、今井光信、加藤真吾、椎野禎一郎、吉村

和久. 日本で流行する HIV-1 CRF01_AE と周辺アジア諸国における流行株との関連. 第31回日本エイズ学会学術集会・総会、2017年11月24-26日、東京.

- 6) 川畑拓也、小島洋子、森治代、佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、加藤真吾. 新しい HIV 確認検査試薬 “Geenius™” の性能評価. 第31回日本エイズ学会学術集会・総会、2017年11月24-26日、東京.
- 7) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、木村哲、加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2016). 第31回日本エイズ学会学術集会・総会、2017年11月24-26日、東京.

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

図1

ホームページの施設情報、検査イベント情報、 情報修正依頼件数

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
掲載依頼	664	666	666	664	657
施設情報	200	177	157	185	168
検査イベント情報	462	591	345	364	363
情報修正依頼					

図2 サイトアクセス数 (2001年-2017年)

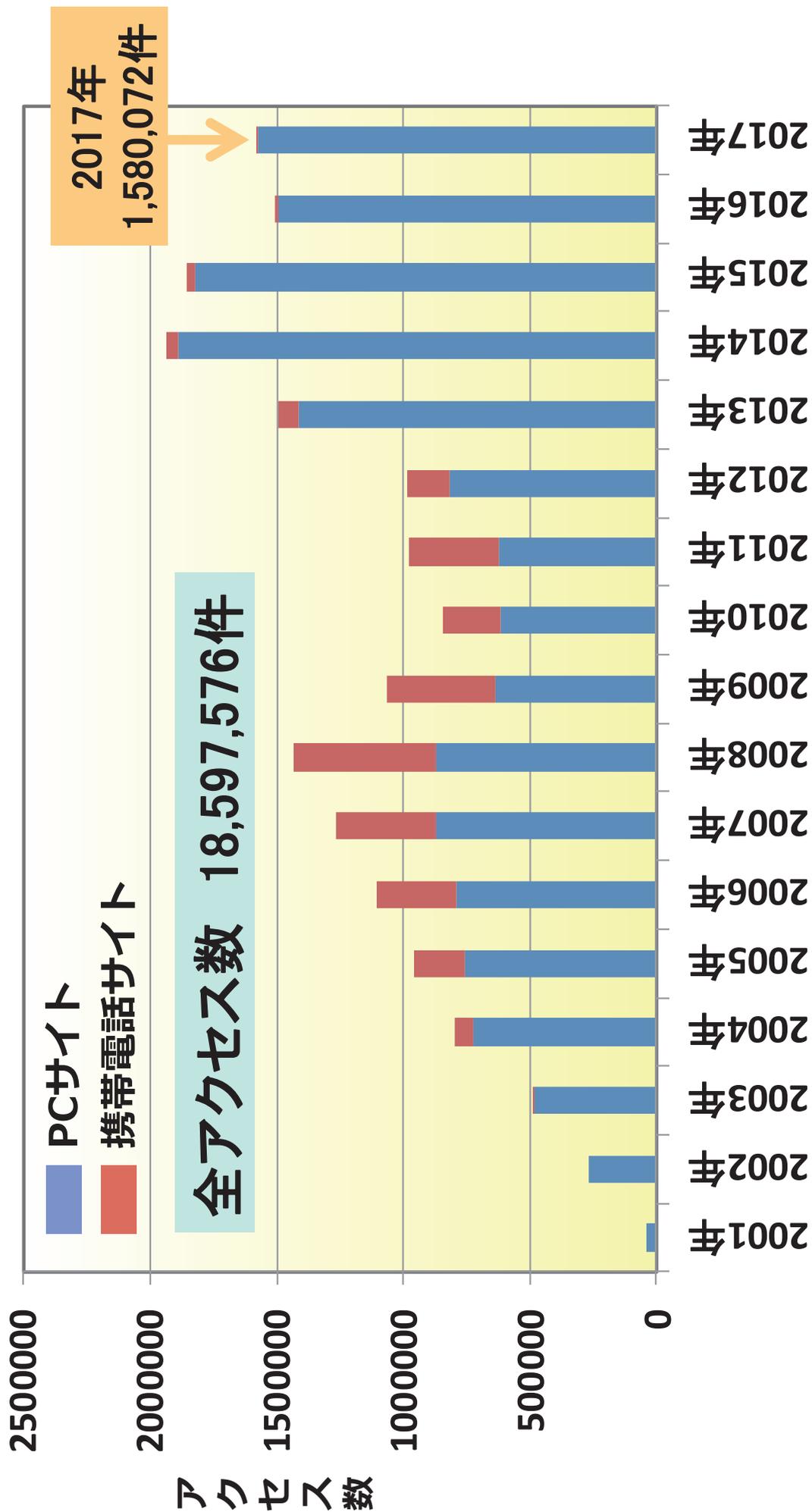


図3

情報端末別訪問数の推移(2010年-2017年)



図4

訪問者(新規・リピーター)割合

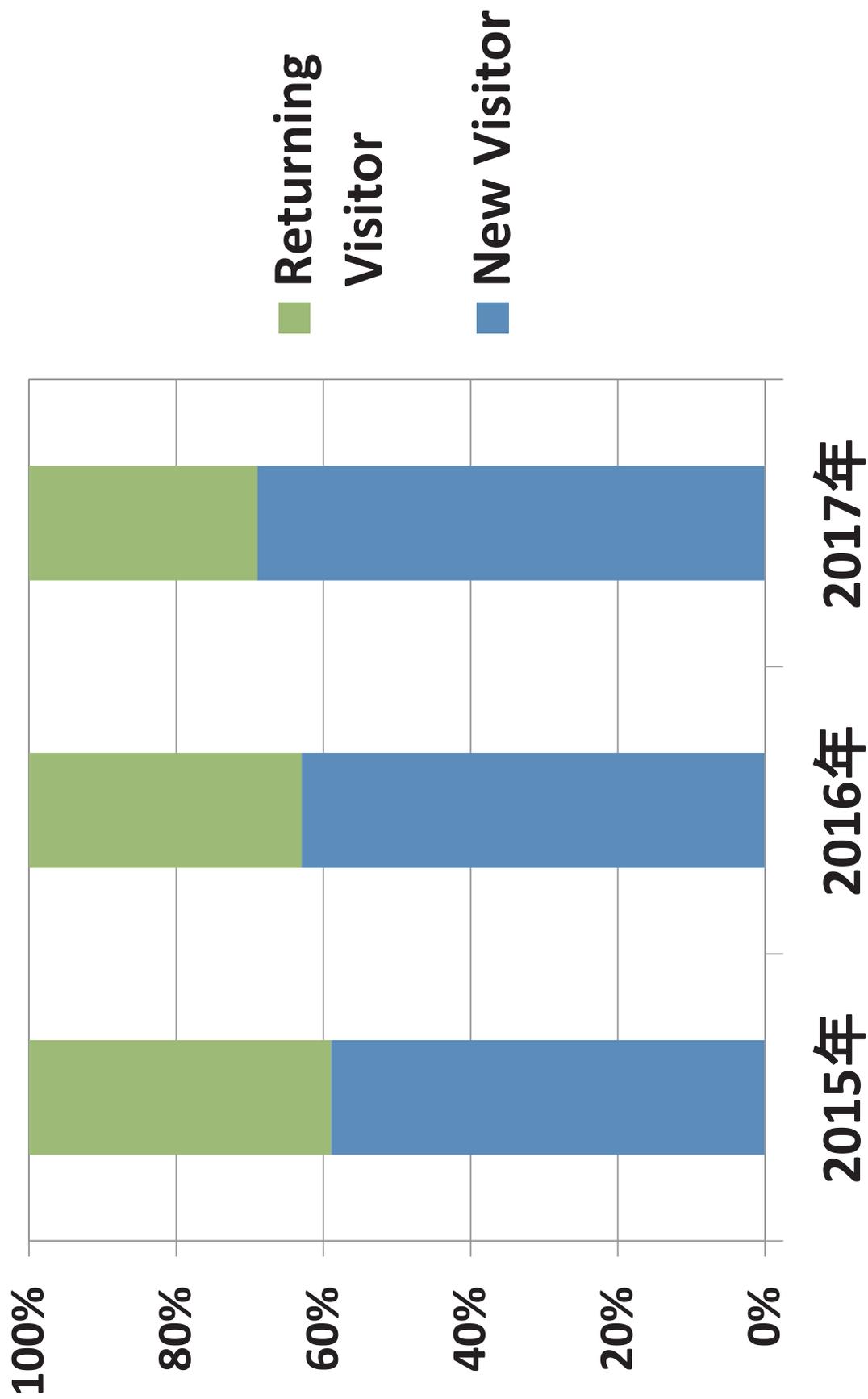
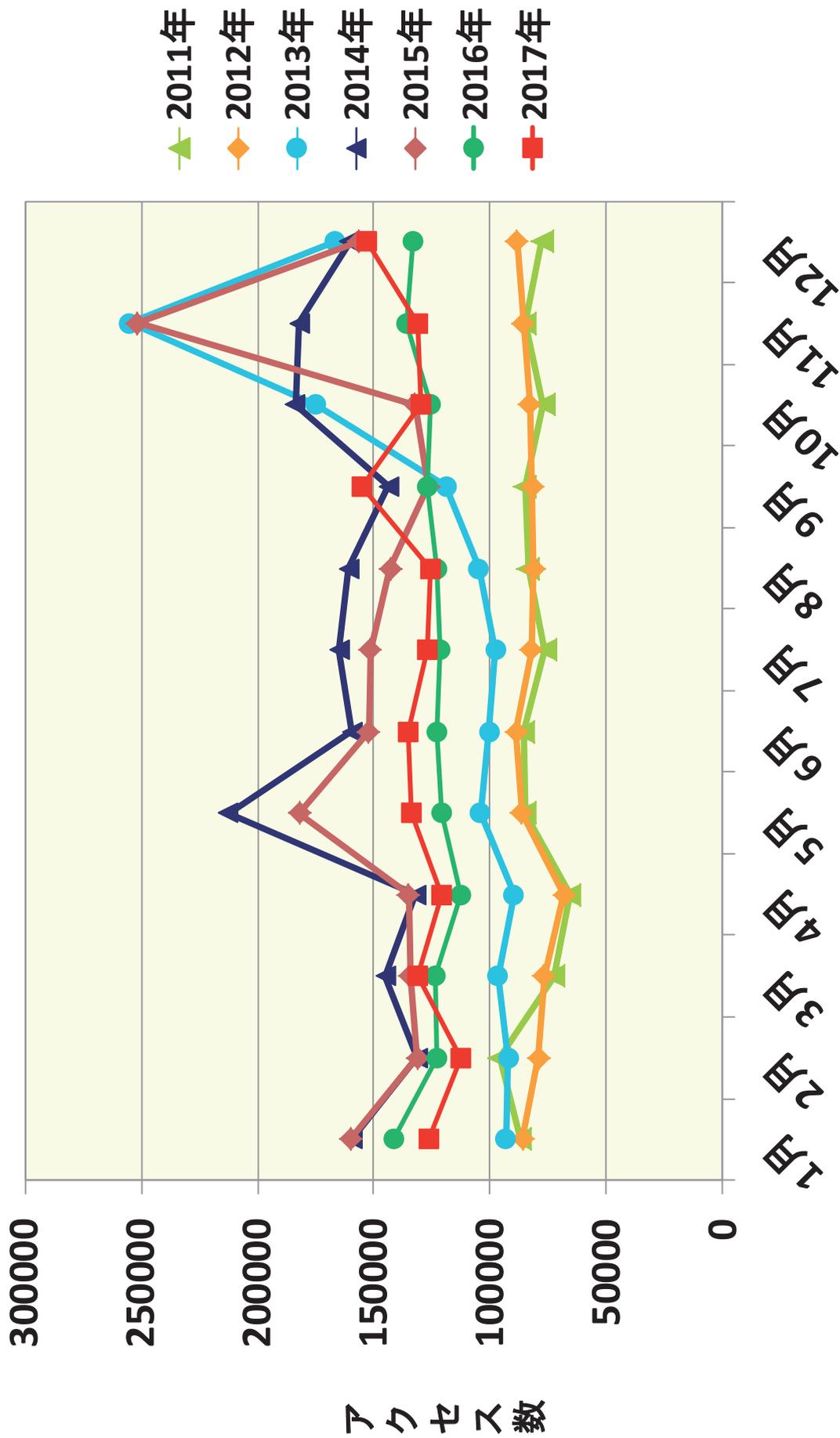


図5

月別アクセス数の推移 (2011年~2017年)



日別訪問数 (2016年、2017年)

図6

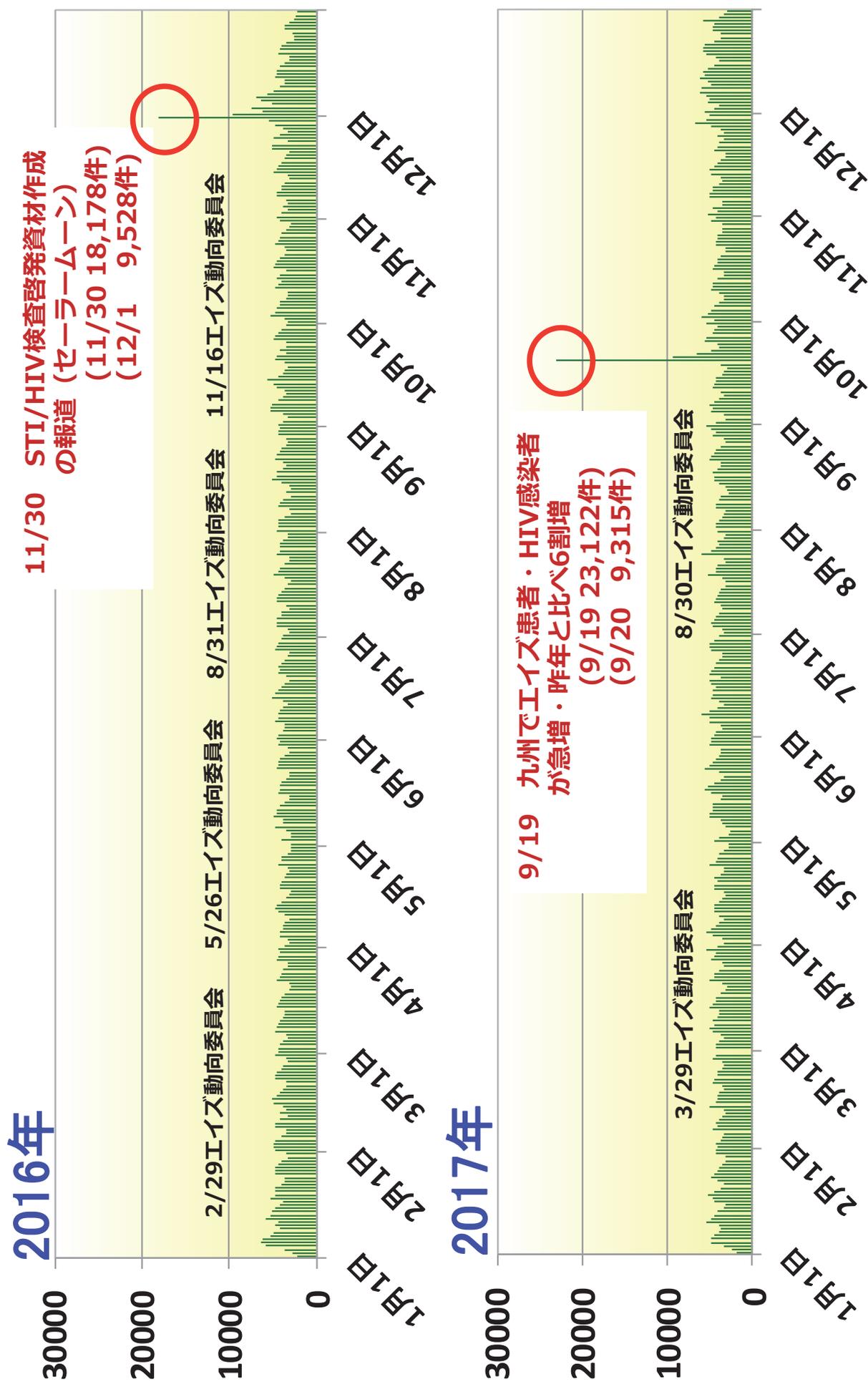


図7 検索エンジン 検索クエリ別順位 (Google: 50位まで)

順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位	順位	検索クエリ	クリック数	平均掲載順位
1	エイズ	19915	1.3				
2	hiv 検査	15777	1.1	33	hiv	370	1.1
3	hiv 検査	5835	1.2	11	hiv検査	1451	1.2
4	エイズ 感染率	3422	1.0				
5	エイズ 検査	3366	1.5	8	エイズ検査	1717	1.6
6	エイズとは	3105	1.6	19	エイズ とは	654	1.6
7	hiv 感染	1720	1.1	26	hiv感染	474	1.0
9	hiv 感染率	1639	1.0	39	hiv感染率	316	1.3
10	hiv 症状	1496	3.7				
12	hivとは	1386	1.9	20	hiv とは	617	1.8
13	エイズ 感染	967	1.0	40	エイズ感染	316	1.0
14	保健所 性病検査	867	2.1	15	性病検査 保健所	713	2.1
16	エイズ 症状	667	8.7				
17	エイズ潜伏期間	665	6.6				
18	hiv 感染経路	656	2.8				
21	エイズ 原因	580	1.9				
22	エイズ 感染経路	564	3.5				
23	保健所 検査	550	1.6				
24	aidsとは	536	1.8				
25	えいず	478	1.3				
27	性病検査 無料	464	1.3				
28	hiv 検査 時期	456	1.0				
29	エイズ 確率	440	1.7				
30	hiv 確率	426	1.2				
31	hiv抗体検査	415	1.0				
32	性病検査	393	19.0				
34	hiv 潜伏期間	363	4.1				
35	aids	348	4.5				
36	hiv 感染 確率	328	1.0	41	hiv 感染確率	311	1.0
37	hiv エイズ	327	1.0	45	エイズ hiv	271	1.1
38	hiv 検査 東京	323	1.0				
42	hiv 相談	311	1.0				
43	hiv 検査 無料	281	1.4				
44	hiv 即日検査	278	1.3				
46	ヒト免疫不全ウイルス	254	2.7				
47	エイズについて	253	1.3				
48	hiv 検査 期間	251	1.0				
49	エイズ 初期	248	2.7				
50	hiv 保健所	241	1.2				

キーワード

エイズ aids えいず 無料 時期 確率 東京 相談 即日検査 ヒト免疫不全 ウイルス

hiv 検査 感染率 感染 症状 保健所 性病検査 潜伏期間 感染経路 原因 期間

(2017/10/23-12/31)

図8

検索エンジン 検索クエリ別月別順位 (Google)

検索クエリ	Google件数	2017年												2018年	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
HIV	55,500,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
エイズ	2,950,000	2	3	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	2	1
AIDS	89,700,000	23	19	19	18	10	10	21	48	9	4	4	4	4	3
HIV 検査	1,780,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
エイズ 検査	411,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
AIDS 検査	237,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
HIV testing	1,630,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
AIDS testing	2,820,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

(PC版 検索順位チェックツールGRCを使用)

チャネル別アクセス割合 (2017年)

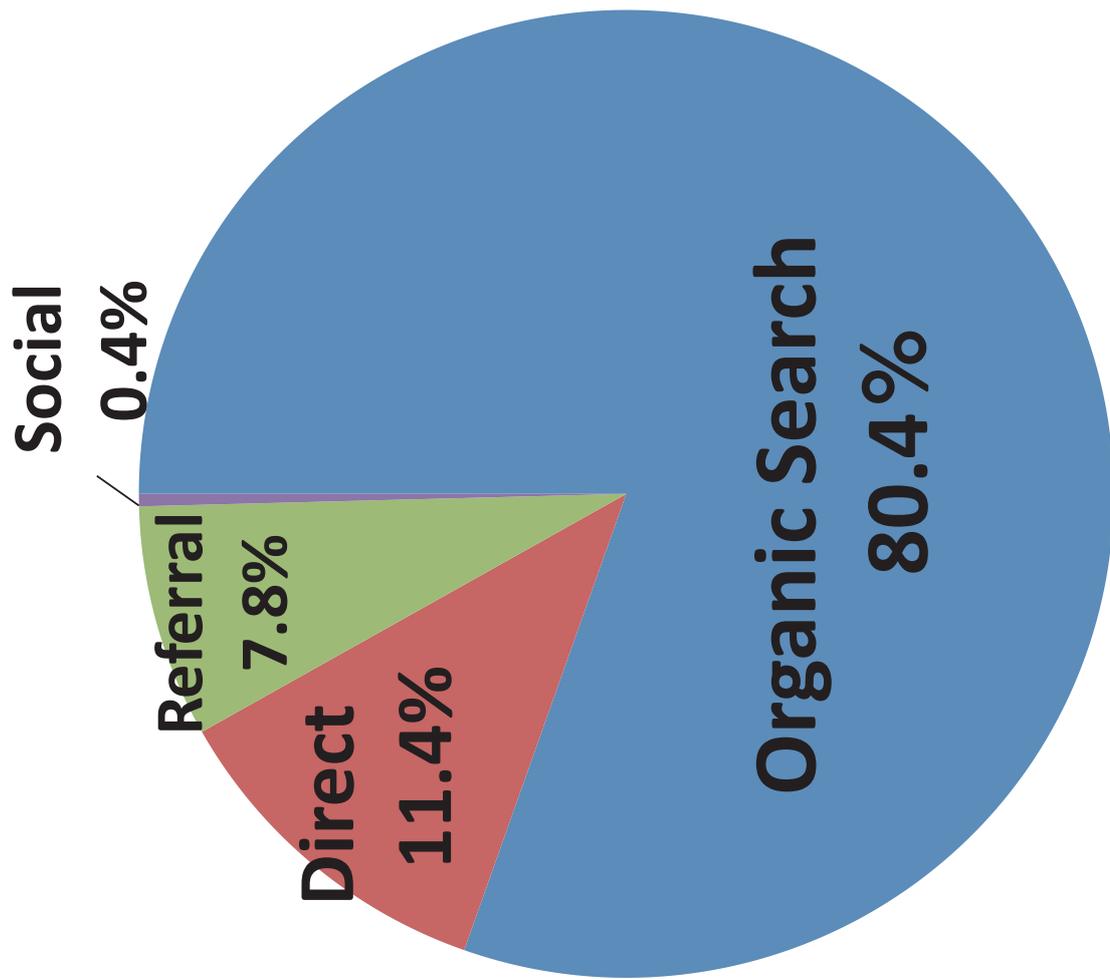


図10

参照元からの訪問数 (2017年)

	参照元	訪問数
1	Google 検索	918,002
2	Yahoo! JAPAN 検索	381,518
3	Direct access	166,923
4	bing 検索	20,022
5	ドコモ 検索	15,633
6	東京都	6,496
7	HIV感染症(エイズ)の検査・ 症状100問100答	6,028
8	はじめての性病検査 リンク	3,954
9	Twitter リンク	3,088
10	KO MENS.TV リンク	2,916

参照サイトからの訪問数 (2017年)

	参照サイト	訪問数
1	東京都	6,496
2	HIV感染症(エイズ)の検査・ 症状100問100答	6,028
3	はじめての性病検査	3,954
4	twitter	3,088
5	KO MENS.TV	2,916
6	Men's Net Japan	2,656
7	HIVマップ	1,982
8	東京都南新宿検査相談室	1,677
9	STDナビ	1,487
10	日本赤十字社	1,227
11	G-men	1,098

図12

サイトコンテンツのページビュー数

ページビュー全体 4,355,428件(2017年)

	サイトコンテンツ	ページビュー数
1	mb HIV・エイズって何？	488,205
2	mb トップページ	356,742
3	mb HIV検査まとめ知識	169,730
4	mb 検査・相談所検索	128,833
5	PC HIV検査まとめ知識	97,103
6	PC トップページ	81,981
7	mb 東京都南新宿検査・相談室	78,346
8	mb 東京都検索施設リスト	71,171
9	mb HIV検査Q&A	66,419
10	mb 東京都検索結果ページ	47,219
11	PC HIV検査まとめ知識	40,466
12	mb 電話相談窓口	38,463

図13

サイト訪問から離脱までの行動フロー (2017年)

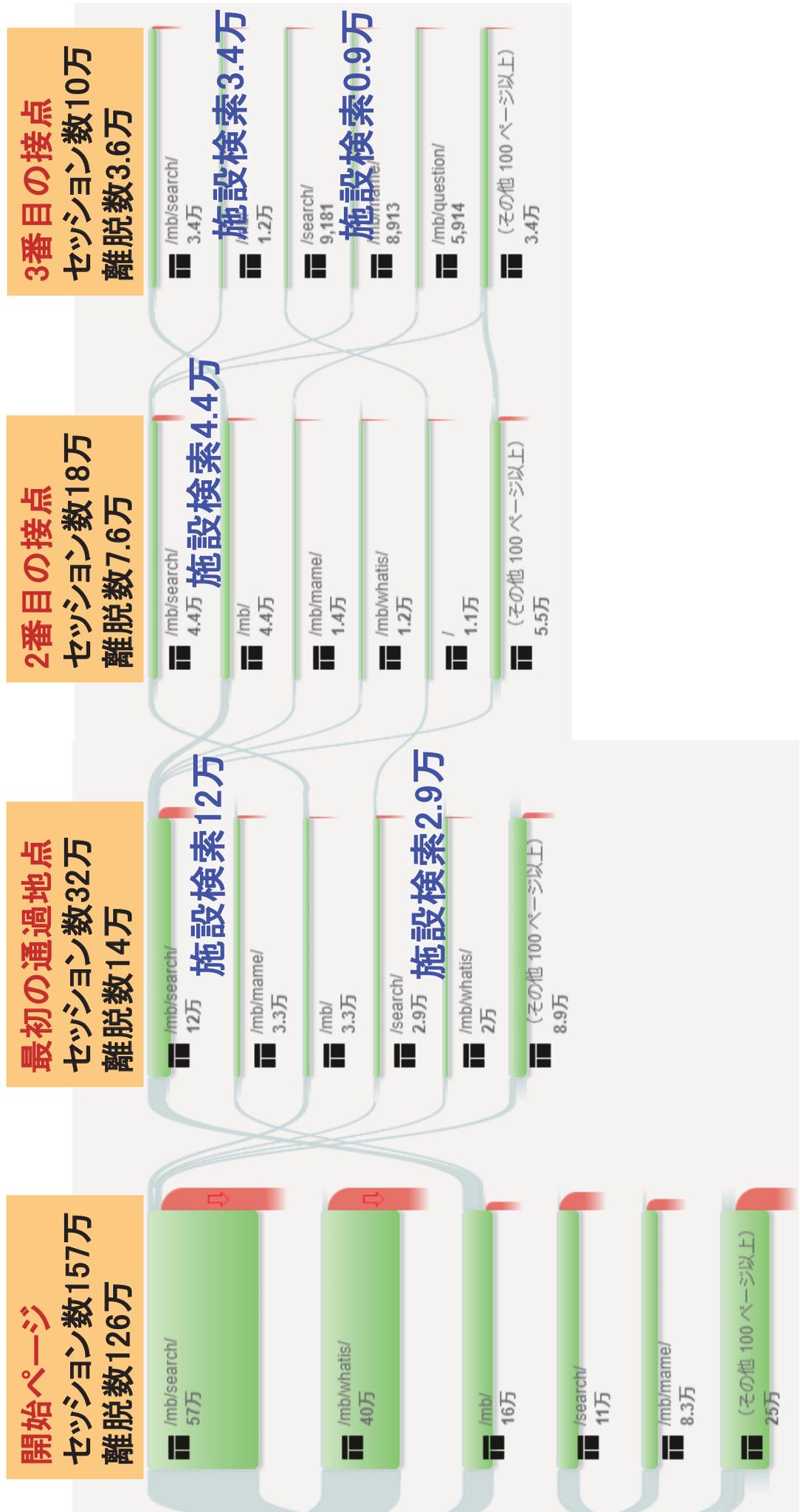


図14

外国語ページの作成・掲載（2017年3月掲載）

- ・ 英語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、中国語、
タガログ語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語で作成

外国語 対応	英語	ポルト ガル語	スペ イン 語	タイ語	中国語	タガ ログ 語	韓国語	ベト ナム 語	やさし い日本 語
HIV検査 について の解説	説明文 と図	図のみ	図のみ	図のみ	図のみ	図のみ	図のみ	図のみ	説明文と 図
検査施設 紹介	8か所	2か所	3か所	3か所	1か所	1か所	3か所	1か所	×
電話相談	8か所	3か所	3か所	4か所	1か所	2か所	1か所	1か所	×

図1：HIV検査の受検から結果を聞くまで

図2：HIV検査の流れ（通常検査、即日検査）

図15

外国語トツプページ



全国HIV/エイズ・性感染症
検査・相談窓口情報サイト

「ごあいさつ」
「お問い合わせ」
「for foreigners」

「検査・相談担当者の方へ」
「お問い合わせ」
「for foreigners」

検査・相談所を探す

検査イベント情報

HIV・エイズって何？

HIV検査まめ知識

HIV検査Q&A

お役立ちリンク

HOME > HIV Testing and HIV/AIDS Counseling Map in Japan

🌐 For foreigners

- [HIV Testing and HIV/AIDS Counseling Map in Japan](#)
- [Mapa de locais para Aconselhamento e teste de HIVno Japão](#)
- [Guía para la prueba de VIH y consultas sobre VIH/SIDA en Japón](#)
- [แผนที่การตรวจหาเชื้อเอชไอวีและเฝ้าปรักษาเอชไอวี/เอดส์ในญี่ปุ่น](#)
- [日本のHIV検査・咨询介绍图](#)
- [Mapa ng pagpapayo sa pagsusuri ng HIV at HIV / AIDS](#)
- [일본의 HIV검사체제와 HIV/AIDS의 상담체제 소개](#)
- [Quy trình xét nghiệm và tư vấn HIV/AIDS ở Nhật Bản](#)
- [日本のHIV検査とHIV/AIDS相談について（やさしい日本語でせつめい）](#)

👍 いいね! シェア ツイート

🔍 検査・相談所を探す

検査施設名

都道府県

- 即日検査可能
- 土日検査が可能
- 夜間検査が可能
- 予約不要
- その他性感染症の検査
- クリニック・医療機関での検査

探す

さらに詳しい条件で探す

! 検査イベント情報

2018年1月29日開催

図16

HIV testing で検索

HIV testing

すべて 地図 画像 ニュース ショッピング もっと見る 設定 ツール

約 1,630,000 件 (0.44 秒)

ヒント: 日本語の検索結果のみ表示します。検索言語は [表示設定] で指定できます。

HIV検査 山の手クリニック

www.y-cn.jp/
夜間でも結果が15分でわかります。 新宿・八重洲・池袋・渋谷の各駅スグ

HIV Testing and HIV/AIDS Counseling Map in ... - HIV検査・相談マップ

www.hivkensa.com/language/
厚生労働省「HIV検査相談体制の充実と活用に関する研究」班による全国のHIV・エイズ・性感染症の検査・相談窓口情報サイト。

HIV Testing and HIV/AIDS Counseling Map in ... - HIV検査・相談マップ

www.hivkensa.com/language/en/ このページを訳す
HIV testing determines whether you are infected with HIV (Human Immunodeficiency Virus), the virus that can lead to AIDS (Acquired Immunodeficiency Syndrome). HIV testing is initially performed with 'screening tests'. If the initial test result is negative, it means 'HIV screening-test negative'. Positive screening-test results will require follow-up ('confirmatory') testing to establish an HIV diagnosis. If the confirmatory test is positive, it means 'HIV infection'. If the result is negative, it means ...

HIV Testing | Understanding HIV/AIDS | AIDsinfo

<https://aidsinfo.nih.gov/understanding-hiv-aids/fact.../hiv-testing> このページを訳す
Fact sheets about HIV/AIDS treatment information, the prevention of mother-to-child transmission, and HIV treatment side effects. All the fact sheets are written specifically for patients in easy to read language.

Testing | HIV Basics | HIV/AIDS | CDC

<https://www.cdc.gov/hiv/basics/testing.html> このページを訳す
2017/09/14 - The only way to know for sure whether you have HIV is to get tested. CDC recommends

外国語
トップページ

英語
ページ

図17 外国語ページのページビュー数 (2017年3~12月)

言語	mb	PC	全体
英語	1661	1267	2928
スペイン語	48	122	170
タイ語	180	165	345
タガログ語	19	88	107
ベトナム語	141	119	260
ポルトガル語	62	161	223
韓国語	57	105	162
中国語	180	223	403
やさしい日本語	662	3304	3966

アクセス地域およびアクセス言語 (2017年)

国	ユーザ数
Japan	1,064,094
United States	5,849
Thailand	3,385
China	1,520
South Korea	1,376
Philippines	1,190
Australia	1,128
Canada	1,083
Vietnam	1,017
Taiwan	968

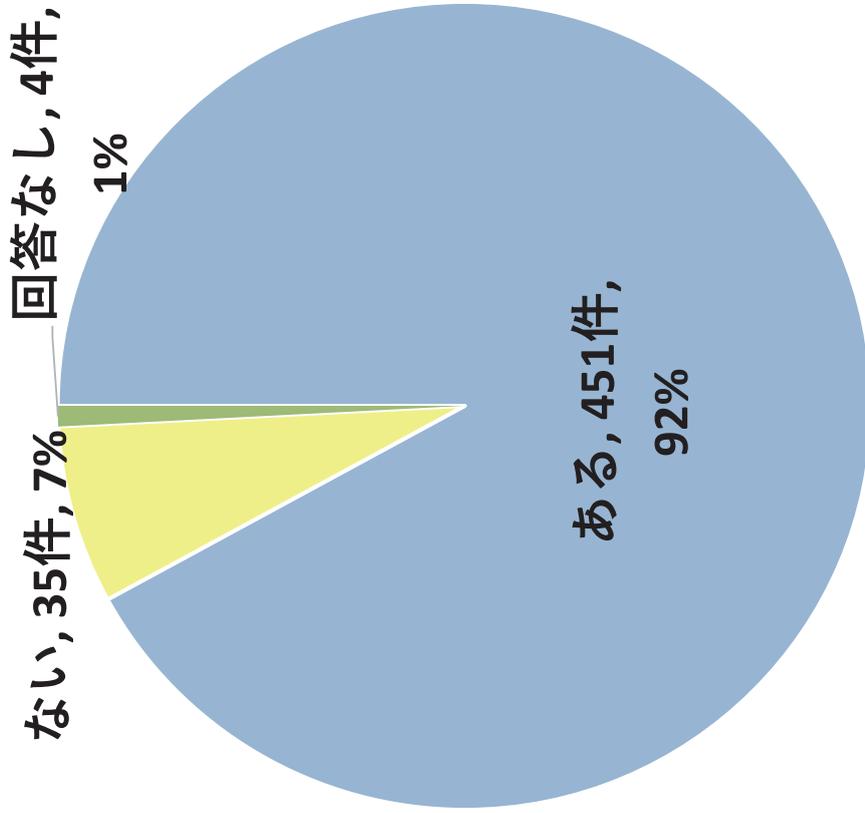
言語	ユーザ数
日本語-日本	796,003
日本語	259,804
英語-米国	24,424
中国語(簡体)	3,261
英語-英国	2,706
英語	723
中国語(繁体)	661
英語-オーストラリア	647
韓国語-韓国	602
英語-カナダ	351

図19

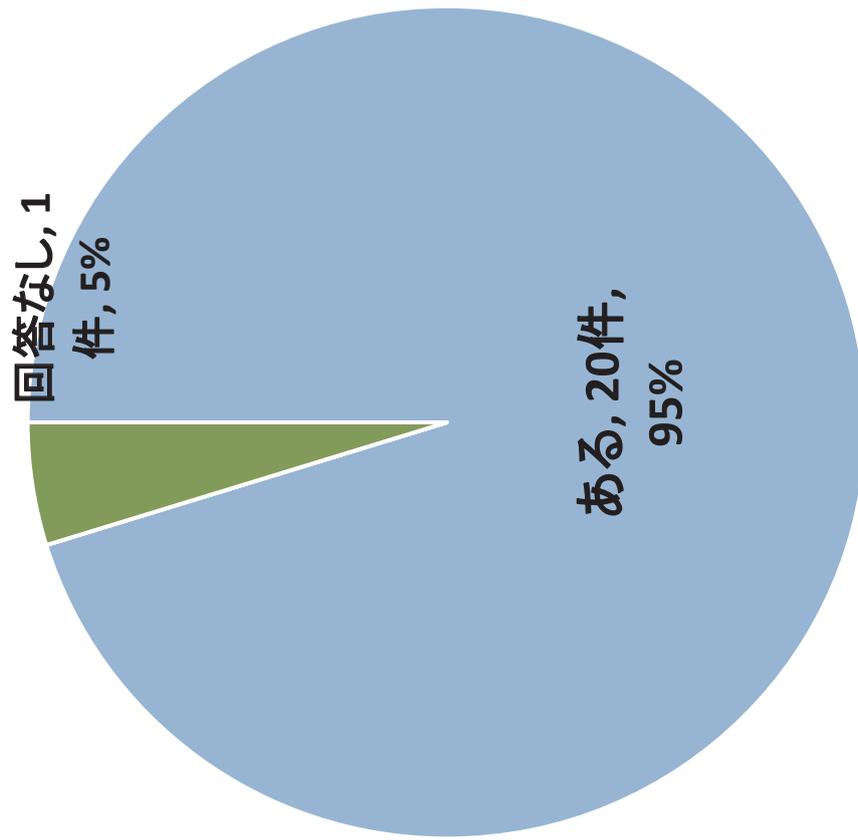
(2017年)

ホームページ「HIV検査・相談マップ」を ご覧になったことはありますか？

(保健所490件中)

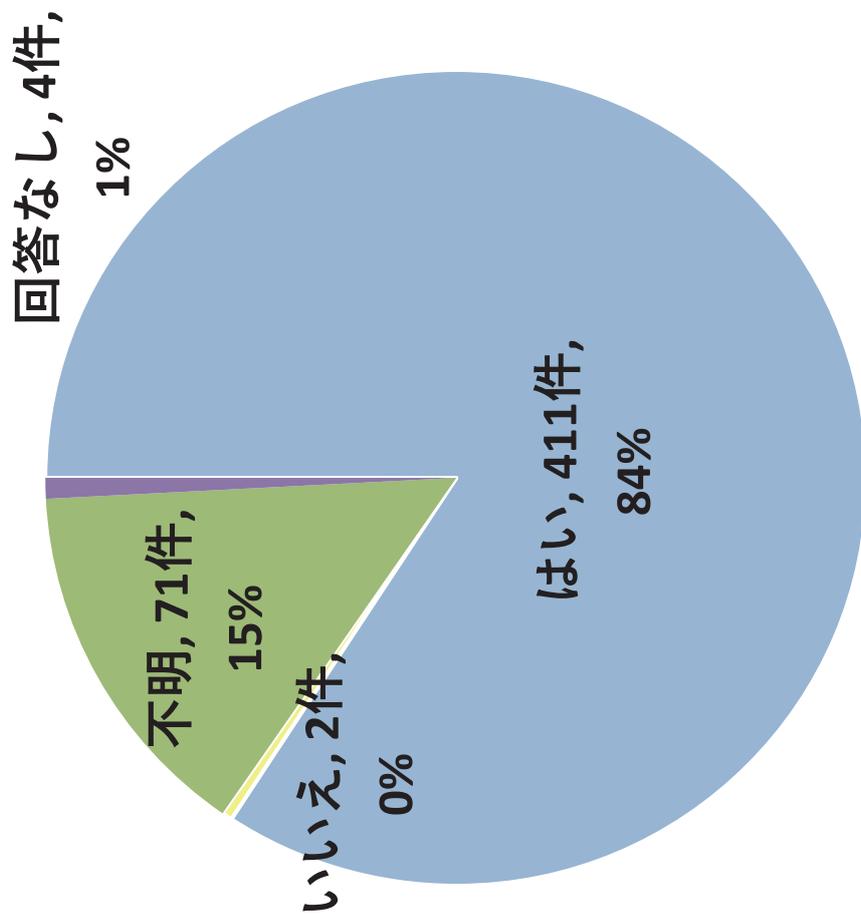


(特設検査施設21件中)



「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に 役立っていると思いますか？

(保健所490件中)



(特設検査施設21件中)

